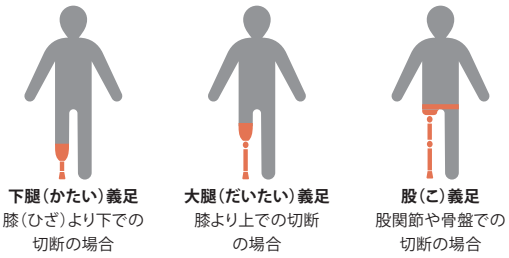


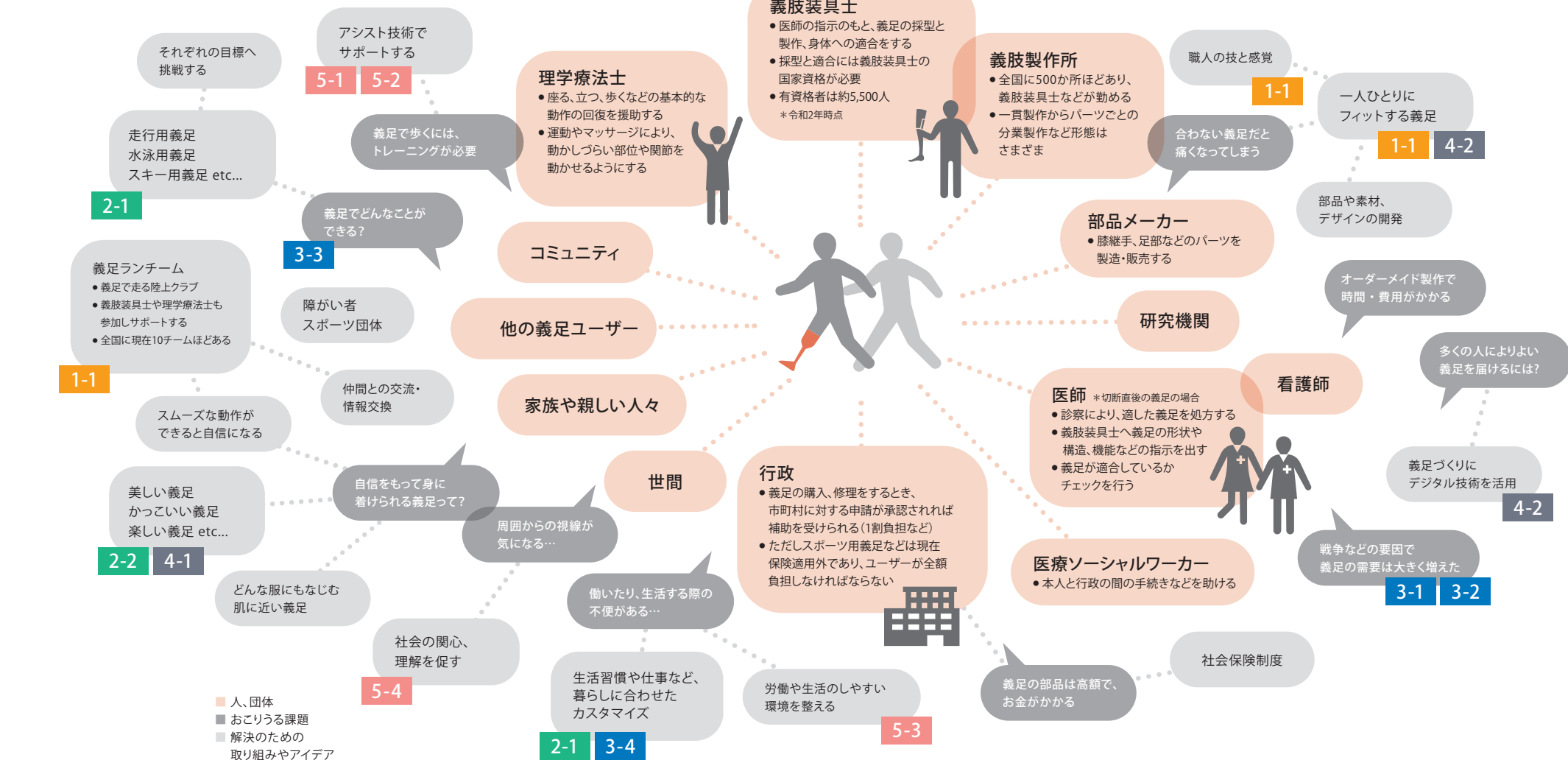
義足ユーザーをとりまく人々、環境

義足ってなに？

私達の身体は一人ひとり違ってきます。ものを見るのに不便を感じる人は、眼鏡やコンタクトレンズという道具を使うことで、日常で困らないように補っています。生まれた時から足の一部がなかったり、病気で事故など様々な理由で切断しなければならない時、足の代わりとして人の身体を支えるのが「義足」という道具です。



日本に下肢を切断した人は推定7万人いるといわれています。近年は糖尿病など血液の循環にかかわる病気による割合が増え、高齢での切断も増えています。



参考:
●白井二美男『転んでも、大丈夫 ぼくが義足を作る理由』ポプラ社, 2016
●WILLこども知育研究所編『義肢装具士の日』保育社, 2018
●鉄道弘済会 義肢装具サポートセンターHP (2021/6/3 access) <http://www.kousaikai.or.jp/support/knowledge/> ほか

- 1 血の通う義足づくり 白井二美男のしごと**
1-1 工房からグラウンド、その先へ
- 2 義足の今を知る 進化し、壁をこえる義足**
2-1 日常からスポーツまで かつていいでしょ?
2-2
- 3 義足の歩み ものづくりと社会の歴史**
3-1 義足の国産化
3-2 戦争と義足
3-3 スポーツと義足
3-4 カスタマイゼーション
- 4 美しい義足を多くの人へ 山中俊治研究室が描く近未来**
4-1 美しさへの挑戦
4-2 マス・カスタマイゼーション
- 5 ダイバーシティへ向けて 未来の社会を考える**
5-1 移動の未来を拓(ひらく)
5-2 日常を支える技術で競う
5-3 地域と社会の一員として
5-4 人を通して障害を識(し)る